



議会だより よつかいどう



発行：四街道市議会
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp

スポーツ de 健康大作戦



表紙写真 募集!

千葉県発祥のスポーツ 友遊（ゆうゆう）ボール

議会だよりでは、市民の皆さまに応募いただいた写真を表紙に掲載いたします。詳しい募集要領は市議会ホームページをご覧ください。

（ 場 所：中央公園野球場
撮影日：平成30年9月29日 ）

主な内容

- 決算審査特別委員会
審査概要…………… 2～3
- 主な議案の概要及び
委員会審査概要… 4～7
- 議決結果一覧…………… 8
- 一般質問…………… 9～14
- 委員会行政視察レポート
…………… 14～15

■ 次回の定例会は11月26日～12月18日の予定です。

一般質問は12月5日～13日の予定です。

12月定例会の会期日程案は16ページまたは市議会ホームページをご覧ください。

本会議の傍聴は、開会30分前から受付をしています。

本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。

（生中継と録画中継があります）

市議会ホームページアドレス

<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/index.html/>

または議会事務局 TEL 043-421-6152(直)までお問い合わせください。



決算審査特別委員会審査概要

平成29年度一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算、水道事業会計決算、下水道事業会計決算（議案第12号から第18号まで）は、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月14日、9月18日から20日まで4日間にわたり審査を行いました。
 決算の概要と主な審査内容は、次のとおりです。

1 決算規模

平成29年度の一般会計決算額は、歳入が前年度比1.5%減の263億2152万4千円、歳出が0.9%減の253億9576万円と歳入歳出とも減少となった。歳入歳出差引額は9億2576万4千円で、翌年度へ繰り越すべき財源の1億2977万7千円を差し引いた実質収支額は7億9598万7千円の黒字となった。が、単年度収支は赤字となった。特別会計決算額は、4つの特別会計決算額全体で、歳入が5.1%減の179億4914万8千円、歳出が5.6%減の173億7245万円となった。

2 一般会計歳入の状況

一般会計歳入は、前年度に比べ、市税が市民税（個人）や固定資産税の増により2億3845万3千円、2.2%増の112億4447万3千円となり、また、地方譲与税・各種交付金が地方消費税交付金や株式等譲渡所得割交付金の増により1億8991万4千円、11.0%増の19億2224万2千円となった一方で、国庫支出金が雨水地下貯留

平成29年度 一般会計・特別会計決算総括表 (単位：千円)

区分	年度等	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ 繰り越す べき財 源	実質収支額
一	般 会 計	26,321,524	25,395,760	925,764	129,777	795,987
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	11,141,780	10,754,991	386,789		386,789
	霊園事業特別会計	61,619	56,617	5,002		5,002
	介護保険特別会計	5,526,401	5,346,845	179,556		179,556
	後期高齢者医療特別会計	1,219,347	1,213,997	5,350		5,350
	小 計	17,949,148	17,372,450	576,698		576,698
	合 計	44,270,672	42,768,209	1,502,463	129,777	1,372,686

*各数値は、単位未満の端数を四捨五入していますので、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

平成29年度 一般会計決算 歳入内訳 (単位：千円、%)

区分	年度等	平成28年度	平成29年度	前年度比較	
				増減額	増減率
市	税	11,006,020	11,244,473	238,453	2.2
地方譲与税・各種交付金		1,732,328	1,922,242	189,914	11.0
地方交付税		2,427,511	2,507,706	80,195	3.3
分担金及び負担金		413,208	456,871	43,663	10.6
使用料及び手数料		474,777	464,549	△ 10,228	△ 2.2
国庫支出金		4,201,954	3,989,186	△ 212,768	△ 5.1
県支出金		1,619,050	1,719,491	100,441	6.2
繰入金		814,602	625,619	△ 188,983	△ 23.2
諸収入等		2,283,145	1,821,487	△ 461,658	△ 20.2
市債		1,756,900	1,569,900	△ 187,000	△ 10.6
合 計		26,729,494	26,321,524	△ 407,970	△ 1.5

*各数値は、単位未満の端数を四捨五入していますので、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

施設等設置工事の減などで社会資本整備総合交付金が大幅減して2億1276万8千円、5.1%減の39億8918万6千円となり、また、市債が公共事業等債の減などで1億8700万円、10.6%減の15億6990万円となったため、全体では4億797万円、1.5%減の263億

3 一般会計歳入の状況

一般会計歳入は、前年度に比べ、目的別では、民生費が児童福祉費の施設型給付費負担金と保育所運営費委託の増などにより4億4944万7千円、4.2%増の111億2718万6千円となった一方で、総務費が四街道駅南口エレベーター設置工事の減などで2億690万3千円、5.7%減の33億9434万5千円となり、また、土木費が雨水地下貯留施設等設置工事の減などで5億1865万円、20.7%減の19億8407万5千円となったため、全体では2億2611万円、0.9%減の253億9576万円となった。

なお、性質別では、義務的経費の扶助費が前年度に比べ3億2834万4千円、4.7%増の73億265万4千円なり、投資的経費の普通建設事業費が前年度比3億9235万1千円、19.4%減の16億2584万円となった。

4 主な質疑と答弁内容

質 基金について、①目的と用途、②見直し理由と今後の方向性、③基金残高の推移を伺う。

答 基金は①財政調整基金と市債管理基金のほか、特定の目的に使用するため設置された基金があり各基金条例に定められた設置目的に応じた事業に使用している。
 ②社会情勢の変化に伴い、設置意義が薄れたり休眠状態にある基金の有効活用を図るため、平成27年

平成29年度 一般会計決算 歳出内訳 (目的別)

(単位:千円、%)

区分	年度等	平成28年度	平成29年度	前年度比較	
				増減額	増減率
議 会 費		294,373	297,258	2,885	1.0
総 務 費		3,601,248	3,394,345	△ 206,903	△ 5.7
民 生 費		10,677,739	11,127,186	449,447	4.2
衛 生 費		2,410,985	2,457,453	46,468	1.9
農 林 水 産 業 費		141,337	130,993	△ 10,344	△ 7.3
商 工 費		158,009	124,875	△ 33,134	△ 21.0
土 木 費		2,502,725	1,984,075	△ 518,650	△ 20.7
消 防 費		1,098,352	1,094,081	△ 4,271	△ 0.4
教 育 費		2,489,849	2,466,305	△ 23,544	△ 0.9
災 害 復 旧 費		0	0	0	0.0
公 債 費		2,247,254	2,319,187	71,933	3.2
合 計		25,621,870	25,395,760	△ 226,110	△ 0.9

*各数値は、単位未満の端数を四捨五入していますので、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

平成29年度 一般会計決算 歳出内訳 (性質別)

(単位:千円、%)

区分	年度等	平成28年度	平成29年度	前年度比較	
				増減額	増減率
人 件 費		4,992,848	4,951,974	△ 40,874	△ 0.8
扶 助 費		6,974,310	7,302,654	328,344	4.7
公 債 費		2,247,254	2,319,187	71,933	3.2
物 件 費		4,552,720	4,482,981	△ 69,739	△ 1.5
維 持 補 修 費		448,082	439,118	△ 8,964	△ 2.0
補 助 費 等		1,007,638	1,131,856	124,218	12.3
積 立 金		870,926	690,747	△ 180,179	△ 20.7
投資及び出資金貸付金		72,528	181,534	109,006	150.3
繰 出 金		2,437,373	2,269,869	△ 167,504	△ 6.9
普 通 建 設 事 業 費		2,018,191	1,625,840	△ 392,351	△ 19.4
災 害 復 旧 事 業 費		0	0	0	0.0
合 計		25,621,870	25,395,760	△ 226,110	△ 0.9

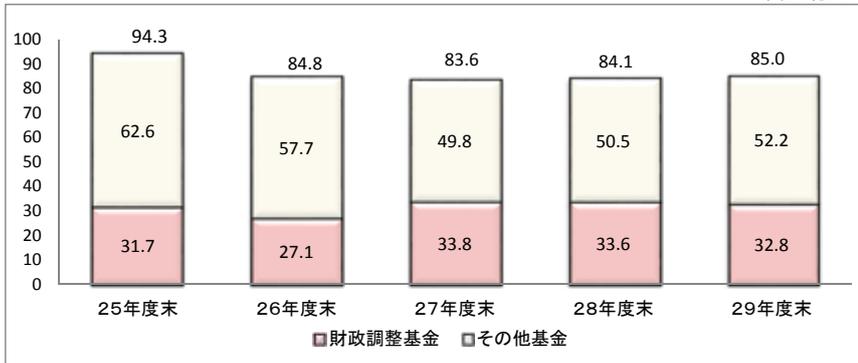
*各数値は、単位未満の端数を四捨五入していますので、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

度は土地開発基金、市立小・中学校建設基金、排水路整備基金、防施設整備基金、道路整備基金の5基金を廃止し、平成28年度にはガス灯設備保守管理基金を廃止した。平成29年度は社会福祉基金を設置目的の社会福祉の増進に資する事業に充てるため、果実運用型

から取り崩し型に変更した。今後も、基金については、基金設置目的にあった事業の財源として有効活用しつつ、社会情勢の変化に適切に対応する考えである。③一般会計の基金残高総額は、平成25年度末は94・3億円であったが平成29年度末では85億円と9・3

一般会計基金残高の推移

単位:億円



億円減少している。このうち財政調整基金は平成25年度末は31・7億円であったが平成29年度末では32・8億円と1・1億円の増加となった。今後は高齢化による扶助費の増加や次期ごみ処理施設等の大型事業による公債費の増加が見込まれ厳しい財政運営が持続可能な財政運営を維持して

(阿部 治夫記)

平成29年度 水道事業会計決算

(単位:千円)

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
予 算 額	1,886,457	1,612,315	2,791	1,340,206
決 算 額	1,892,429	1,526,260	4,184	981,400

*資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされています。

平成29年度 下水道事業会計決算

(単位:千円)

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
予 算 額	1,907,782	1,885,857	237,512	640,597
決 算 額	1,887,560	1,880,982	171,677	557,564

*資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び引継金等で補てんされています。

主な議案の概要及び委員会審査概要

今議会では、条例の制定及び改正、平成30年度一般会計・特別会計補正予算、平成29年度決算の認定など18件の議案と発議案4件、陳情7件の審議や議決が行われました。
主な議案と委員会での審査内容は以下のとおりです。

(議決結果一覧P8)

議案第8号 一般会計補正予算(第3号)を修正可決

【修正可決】市長より提出された平成30年度四街道市一般会計補正予算(第3号)は、分割付託された3常任委員会のうち庁舎等整備事業を所管する総務常任委員会で、可否同数・委員長裁決で否決となり、その後、本会議において修正案が提出され修正可決となった。

修正案は、庁舎整備の時期や財源の再検討及びその他の大型事業の事業費見直しを促し現実的な庁舎整備計画を求めるもので、修正可決の結果、庁舎等整備事業に係る委託料3556万8千円のほか、同事業に係る継続費や地方債が削減・減額された。
なお、議案第8号に係る総務

常任委員会の審査概要は、次のとおり。

【質】 庁舎等整備事業について、平成29年7月策定の庁舎整備基本計画で概算48億円であったものが、約56億円へ約8億円の増加となったが、その要因は何か。

【答】 平成29年7月の基本計画では、他市の事例を踏まえ、実績を考慮した平米単価による概算額として約48億円を計上したが、具体的に積算した結果として約56億円となったものである。その他の要因としては、鉄筋価格がこの1年間で3割ほど上昇するなど資材価格の高騰があげられる。

【質】 庁舎等整備事業について、今回の地方債補正を含めると約42億円となる地方債の償還期間

は何年か。また、次期ごみ処理施設整備事業など他の大型事業を含めた公債費の今後見込みはどうか。

【答】 庁舎等整備事業の起債償還期間は20年間であり、この庁舎等整備事業に次期ごみ処理施設整備事業や3・3・1号山梨白井線整備事業、3・4・7号南波佐間内黒田線整備事業、千代田中学校や八木原小学校の大規模改造事業など他の大型事業を含めた公債費は、平成29年度の23億3000万円が、平成37年度に31億1000万円まで増加し、その後は平成45年度まで、概ね30億円で継続していくと見込んでいる。

【質】 平成37年度をピークとした公債費の増加について財政的には大丈夫なのか。

【答】 財源としている基金や交付税措置額では約49億円の財源不足が見込まれるため、第8次行財政改革推進計画や行財政改革審議会の提言及び経営改革会議の取組み事項などを着実に実施するなど徹底した行財政改革を行うことで、単年度当たり2・5億円の償還財源を確保していく考えである。

総務

議案第3号 四街道市議会議員及び四街道市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

【提案理由】 本案は、公職選挙法の一部改正に伴い、四街道市議会議員選挙における選挙運動用ビラの作成費用を公費負担の対象とするため提案するものである。

【質】 公費負担対象となる市議会議員選挙運動用ビラの上限枚数と単価について詳細説明を。

【答】 選挙運動用ビラの上限枚数は、候補者1人につき2種類以内で4000枚、単価についての公費負担上限額は1枚あたり7円51銭である。

議案第8号 平成30年度四街道市一般会計補正予算(第3号)(可否同数・否決)

【提案理由】 補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億7735万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳

出それぞれ264億3560万7千円とするものである。

継続費については、庁舎等整備事業4件を追加し、3・3・1号山梨白井線整備事業1件を変更するものである。

債務負担行為については、がん集団検診委託ほか2件を追加するものである。

地方債については、庁舎等整備事業ほか2件の限度額を変更するものである。

※庁舎等整備事業を除く

地域災害対策事業のコミュニティ助成事業助成金200万円の減額の説明を。

美しが丘3丁目自主防災組織の発電機などの購入費用の助成金を県を通じて一般財団法人「自治総合センター」に応募していたが不採択となつたため、減額するものである。

陳情第4号 四街道市庁舎に関する陳情（不採択）

陳情の趣旨は市庁舎設計に白井市庁舎の改善、改良点を反映させることだが、どうか。

既に、白井市や他市の工事を参考にし、改善すべき点は改善して設計を進めている。

都市環境

議案第4号 四街道市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、土砂等による埋立て等の更なる適正化を図るため、所要の規定の整備を行うため提案するものである。

【質】 保証金を1㎡あたり400円と設定した根拠は。

【答】 先行自治体の状況を調査し、保証金額の最も高い自治体を参考に設定を行った。

議案第7号 損害賠償の額を定め和解することについて（可決）

【提案理由】 本案は、市道上で起きた事故に係る損害賠償請求事件について、損害賠償の額を定めるため及び民事訴訟法第89条の規定に基づく和解をするため、地方自治法第96条第1項第12号及び同第13号の規定により提案するものである。

【質】 損害賠償金140万円に

ついて、示談交渉の金額は。

【答】 裁判での相手方の賠償請求金額は、178万1685円であったが、裁判による精査や原告側の過失割合を踏まえた金額に、弁護士費用や遅延損害金等を考慮し、140万円を裁判上の和解案とした。

議案第8号 平成30年度四街道市一般会計補正予算（第3号）（可決）

【質】 3・3・1号山梨白井線整備事業の最終的な工事総額は。

【答】 今回の橋梁上部工で5億円以上増加し、残工事等も生じており、4車線道路になることで調整池等による雨水抑制が必要となる。また、資材の上昇、労務費の上昇、経費の増加など、それらすべてを考慮すると、現在精査を行っているところだが、概ね43億円くらいにならざるを得なくなる。

陳情第2号 国民保養センター鹿島荘「温水の下水道料金の徴収」に関する陳情（不採択）

【質】 下水道料金の徴収を過去5年間とした理由は。

【答】 地方自治法の規定による金銭債権の消滅時効期間が経過していない過去5年間分を徴収したものである。

【質】 当市の汚水は、印旛沼流域下水道に接続されているが、徴収した料金は、印旛沼流域下水道に納めるのか。

【答】 印旛沼流域下水道には、個別ではなく当市全体の汚水量について、年度末に一括して負担金を納めている。

陳情第5号 次期ごみ処理施設の処理方式選定に関する陳情（不採択）

【質】 ガス化溶解はトラブルが多くコストもかかり、溶解スラグも利用されず、処分費用がかかると聞くが、市の考えを伺う。

【答】 ガス化溶解方式も、選択肢の一つであり、施設整備基本構想で、長所・短所・建設費及び運営費などを審査したが、建設費が高く、また、会計検査院から、他自治体で溶解スラグを全部または大半を再利用できずに埋め立て処分している事例が見受けられるとの指摘があることから、本市がガス化溶解方式を採用した場合、溶解スラグをリサイクルすることなどの困難が

予想される。

陳情第6号 四街道市の焼却残渣最終処分場に関する陳情（不採択）

質 焼却残渣の受け入れについて、北茨城市と銚子市からは、正確にあと何年は大丈夫という提示があるか。

答 銚子市については、今年度の契約時に平成31年度末を目前に次の最終処分場の選定を開始してほしいとお話があり、北茨城市については、当面の残存量に問題はなく、まだ10年以上は大丈夫であると伺っている。

教育民生

議案第1号 四街道市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、介護保険法の一部改正に伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する必要な事項を定めるため提案するものである。
質 指定居宅介護支援事業者の指定権限が移譲されることに

伴い基準等を定める条例が10月1日から施行されることについて、事業者等への周知は、どのようになっているか。

答 厚生労働省令により条例第16条第20号の規定が10月1日から施行される必要があることを含め、条例制定の情報を事業者や市ケアマネジャー協議会等へ提供し周知に努めていく。

議案第2号 四街道市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、市民の歯と口腔の健康づくりを推進し、生涯にわたる健康の保持増進に寄与するため、歯と口腔の健康づくりの推進に関する必要な事項を定めるため提案するものである。

質 総合的かつ計画的に推進する計画とは、具体的には何か。
答 条例で規定する基本計画は、第2次健康四街道21プランの中で位置づけられている歯科口腔保健推進計画である。

議案第5号 四街道市こどもルーム条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、大日小こども

ルームの利用者の増加に伴い、こどもルームを増設するため提案するものである。

質 増設される大日小すみれこどもルームの定員は何名か。
答 定員は40名である。

議案第6号 四街道市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、地方税法施行令の一部改正に伴い、基礎課税額の限度額を改定するため提案するものである。

質 基礎課税額を54万円から58万円に引き上げる影響は、どのくらいか。
答 対象世帯数の見込みは280世帯から300世帯程度、税収額は、調定ベースでは1200万円、収入ベースでは1000万円程度の税収額を見込んでいる。

議案第8号 平成30年度四街道市一般会計補正予算（第3号）（可決）

へ教育民生常任委員会所管事項
質 私立保育園運営費等補助事業の保育対策総合支援事業費補助金300万円について詳細

な説明を。

答 市内の私立保育園の業務ICT化に係る補助金として保育の記録や登園管理等の機能が備わっているシステム、パソコンやタブレットの購入経費を、1園100万円を上限に補助するもので、国2分の1、市4分の1の補助金合計75万円を4園分計上したものである。

議案第9号 平成30年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（可決）

【提案理由】 補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ27万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ92億5767万円とするものである。

債務負担行為については、集団特定健診・健康診査等業務委託1件を追加するものである。

質 内部管理事業の国保事業報告システム改修委託料27万円について、改修するシステムの説明を。

答 国保事業報告システムは、千葉県下市町村統一システムで、被保険者の増減や保険税額の徴収状況について、千葉県へ報告する電算集計システムである。

議案第10号 平成30年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第1号)(可決)

【提案理由】 補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4916万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ59億8616万2千円とするものである。

【質】 認知症総合支援事業委託料95万1千円について、現状と増額理由の説明を。

【答】 認知症初期集中支援チームは、7月末現在において9件の相談があった。増額理由は、担当者の厚生年金保険料分の不足が見込まれるためである。

議案第11号 平成30年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(可決)

【提案理由】 補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ657万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億6447万円とするものである。

【質】 職員1名増の理由について説明を。

【答】 例年の被保険者数の増加

に比例した事務業務量の増加を担当者の時間外勤務で対応してきたが、職員の負担軽減の観点から1名増としたものである。

陳情第3号 公民館利用者団体代表者説明会「説明資料における近隣市との比較の中に、千葉市公民館が記載されないのは、公正である」とは言い難いです。使用料の算定を再検討する。に関する陳情(不採択)

【質】 千葉市公民館が記載されていないことについての見解は。

【答】 説明会の資料は、近隣市において使用料を定めているところの金額と比較するため記載したものである。

陳情第8号 国民保養センター鹿島荘の浴場廃止について「廃止理由の訂正」に関する陳情(不採択)

【質】 温水管の漏水について、掘削して確認しない理由は。

【答】 温水管の漏水の確認については、赤外線カメラ調査により漏水箇所の特定ができるため、掘削費用を勘案し、掘削していない。また、掘削補修しないで閉鎖した理由は、温水管の老朽化によるためである。

議会運営

発議案第1号 四街道市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について(可決)

【提案理由】 本案は、市議会議員の議員報酬月額、期末手当の額を一定期間減額するため、提案するものである。

【質】 特例期間が平成32年2月末までと、現議員の任期である3月9日とはズレているが、理由は何か。

【答】 3月1日から9日までの期間分については、支給に関して、日割計算を要するため、2月末までの期間とした。

【質】 この条例による議員報酬等の削減は、どのくらいの金額となるのか。

【答】 21人の議員報酬等の17か月分合計で、約1100万円弱と見込んでいる。

発議案第2号 四街道市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

【提案理由】 本案は、四街道市議会議員の議員定数を削減するため、提案するものである。

【質】 22人を20人の定員へと2人削減する理由は何か。

【答】 2人の定員削減により、経費が年間で約1400万円削減できるためである。

【質】 幅広い市民の声や要望を市に提案し、市政に反映させるという議員の責務・責任について、どのように考えているのか。また、20人が妥当と考える理由は何か。

【答】 市民の声を取り上げることとは大切と考えているが、当市の議員数は、人口割で約4千人に1人であり、2人削減した20人であっても、千葉市や八千代市などより十分な議員数であると考え、20人で提案した。

※発議案の質疑に対する答弁は、提出者の答弁を要約したものです。

陳情第7号 議会基本条例に関する陳情(不採択)

(主な意見の要約)

本陳情の意図は、平成25年の議会基本条例の制定自体を第1歩とし、評価と改善の仕組みづくりを求めるものと認識した。ただし、定例会議閉会の都度ということは難しい。

平成30年第3回(9月)定例会議決結果一覧

○：賛成 ×：反対 退：退席

番号	議案名	結果	阿部百合子	津島秀樹	大越登美子	西塚義尊	成田芳律	栗原愛子	関根登志夫	中島康一	栗原直也	坂本弘毅	大谷順子	清水清子	岡田哲明	※戸田由紀子	石山健作	山本裕嗣	森本次郎	高橋絹子	長谷川清和	阿部治夫	清宮一義
議案第1号	四街道市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	四街道市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	四街道市議会議員及び四街道市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	四街道市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	四街道市こどもルーム条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	四街道市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(賛成多数)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	損害賠償の額を定め和解することについて	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成30年度四街道市一般会計補正予算(第3号) ※修正案含む。	修正可決(賛成多数)	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成30年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(賛成多数)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成30年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(賛成多数)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成30年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成29年度四街道市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定(賛成多数)	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成29年度四街道市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定(賛成多数)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成29年度四街道市霊園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	平成29年度四街道市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定(賛成多数)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	平成29年度四街道市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成29年度四街道市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成29年度四街道市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
発議案第1号	四街道市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
発議案第2号	四街道市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決(可否同数)	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×
発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
発議案第4号	国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	原案可決(全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号	国民保養センター鹿島荘「温水の下水道料金の徴収」に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×		×	×	×	×	×	×	×
陳情第3号	公民館利用者団体代表者説明会「説明資料における近隣市との比較の中に、千葉市公民館が記載されないのは、公正であるとは言いがたい。使用料の算定を再検討する。」に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×
陳情第4号	四街道市庁舎に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×		×	×	×	×	×	×	×
陳情第5号	次期ごみ処理施設の処理方式選定に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×
陳情第6号	四街道市の焼却残渣最終処分場に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×		×	×	×	×	×	×	×
陳情第7号	議会基本条例に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×		×	○	○	×	×	×	×
陳情第8号	国民保養センター鹿島荘の浴場廃止について「廃止理由の訂正」に関する陳情	不採択(賛成少数)	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×		×	×	×	×	×	×	×

※議長(戸田由紀子)は、採決には加わりません。なお、可否同数の場合は議長が裁決します。

一般質問

第3回定例会では9月6日から7日、10日から13日までの6日間、15人の議員による一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。

詳しくは、市立図書館、市役所本館2階の情報公開室に設置の会議録、または市議会ホームページの会議録検索（第3回定例会分は11月下旬公開予定）でご覧いただけます。各議員が行った質問については、紙面の都合により、一部だけを掲載しました。



市ホームページアドレス：<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/index.html/>



魅力ある四街道に向けて

坂本弘毅議員

問 1年間の市内全体における小学校プール管理・運営コストはどの位かかっているか。また今後施設の老朽化に対する取り組みはあるか。

答 管理運営費は、過去3年間の水道料や点検委託費等の平均値に昨年度の修繕費及び工事請負費を合算すると、年間概ね500万円である。プール施設は、経年劣化が進んでいることから、計画的に改修等を実施し、水泳授業が安全かつ円滑に行えるよう取り組んでいく。

問 水泳授業の質の向上を図るためや管理・運営コストを削減するためにも民間委託や市内に2カ所ある公営プールを有効活用すべきではないか。

答 民間委託等も含め検討していく。

問 全国的にも猛暑日が続いたが各小中学校への特別教室にもエアコンを設置すべきと思うがどうか。

答 校舎の大規模改造事業の実施にあわせて設置するなど、整備を進める。

問 市内での防災無線難聴地域について現状把握はしているか。また災害時には重要な情報網であるという観点からも早急に調査し対応すべきではないか。

答 拡声子局のデジタル化工事の際、音響伝搬調査等を行い子局の増設をした。また住戸増加に対し子局増設や音量調整等で、難聴地域解消に努めている。



認知症を予防し健康寿命を全うするために

栗原愛子議員

問 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業第7期計画の中で「地域包括支援センターの機能強化」の施策をあげているがその詳しい内容を伺う。

答 地域包括支援センターの相対的な評価が可能となる自己評価制度が国から示されたので、平成30年度から導入を行うことにより、市民からの相談に迅速に対応し、課題の発見や機能強化につなげていくところである。

問 認知症予防の講座は、どのような内容で、いつどこで開催されるのか。

答 従来からの講座を引き続き行うとともに、本年度から認知機能の向上や、生活習慣の改善に重点を置いた「動いて笑って認知症予防」という講座を14コース開催している。また、生涯学習まちづくり出前講座に「認知症予防のためのファイブ・コグ検査」を追加したところである。

問 認知症地域支援推進員はどのような方で、本市には何名いるのか。

答 認知症地域支援推進員は、医師や保健師、社会福祉士等の者のうち、認知症地域支援推進員研修を受講した人がなることができ、地域包括支援センターに4名いる。

問 成年後見制度は大きく分けると「法定後見」「任意後見」がある。この制度の周知方法を伺う。

答 成年後見制度の周知は、ホームページへの掲載、生涯学習まちづくり出前講座や消費生活講座等でお知らせをしている。



街づくりのビジョンはいかに
大越登美子議員

問 平成9年供用開始の鷹の台サービスコーナーは、今後どう充実が図られるのか。

答 コンビニ交付サービスの開始に向けた検討を進めており、導入後は全国のコンビニエンスストアで証明書等の発行が可能となる。導入に伴い鷹の台サービスコーナー等は平成32年度末に終了を予定している。

問 鷹の台公共用地について、住民要望で
ある施設の検討について伺う。

答 ご要望の複合施設は、様々な機能を有する施設であることから、関係部署において、内容を精査するとともに、具体的な要望内容の把握等に努める必要があると認識している。

問 次期ごみ処理施設の余熱利用は温浴施設をあげられているが、今後温水プールはどうなるのか。

答 四街道市温水プールは余熱利用施設であることから、クリーンセンターからの余熱供給の停止に伴う今後の在り方について検証を行っていく。

問 本市は最終処分場を持つておらず、現状と2つの他市との協定はあるのか伺う。今後、早急に確保していただきたい。

答 銚子市と北茨城市の事業者の2つの最終処分場のうち、北茨城市とは協定書を取り交わしている。今後の最終処分場の選定については長期的且つ安定継続できる候補地の情報収集に努めている。



問題だらけのごみ問題
大谷順子議員

問 吉岡の次期ごみ処理施設用地の残土埋立ても完了せず、隣接地主との交換契約も終了しないまま、ごみ処理施設の造成を行っても問題ないのか。

答 分筆及び所有権移転登記が完了しており、全体スケジュールの管理上、並行して行うべきと捉えている。

問 ごみ処理施設内に建設される温浴施設等は5億円以上だと思いが、ごみ処理施設とその附帯施設は同時期に開所予定か。

答 総合計画への位置づけをしてからと考えており、同時期とは捉えていない。

問 ごみの有料化こそ市民の意見を聞くパブリックコメントを実施すべきと考えるがいかがか。

答 平成28年度策定の四街道市一般廃棄物処理計画で、家庭系ごみ処理手数料制度について、平成32年度の導入を位置づけ、市民参加手続を実施している。改めて、制度に係る市民参加手続は考えていないが、説明会や様々なイベント等の機会で周知、啓発に努めていきたい。

問 ごみ有料化の目的は可燃ごみの減量、可燃ごみの中に含まれる生ごみ減量のために、生ごみ減量化容器の補助金を再開するつもりはないか。

答 再開の予定はないが、生ごみの減量化の取り組みとして、昨年度からモニター事業として実施しているEM菌による堆肥化を、市民の皆様個々の取り組みとして広げるべく、啓発していく。



市長の政治姿勢を問う
阿部治夫議員

行財政改革の推進に関する提言

問 「市単独の補助金や扶助費等」で、見直す事業はどのようなものが対象になっているのか伺う。

答 補助金の原則3年ごとの見直しを継続するとともに、支出目的が達成されたもの、支出の必要性が薄れてきたもの、効果が見込めなくなったものなどについてを見直しの対象としている。

問 子ども医療費の自己負担基準の見直しで医療費の増加傾向がどの程度抑制できるのか伺う。

答 自己負担基準の見直しによる削減額は、年間で約4800万円を見込んでいます。

問 市税等の収納率の向上で「県平均収納率を上回るよう、更なる収納体制の強化を図る」とあるが、その見直しについて伺う。

答 収納対策の基本である早期完納に向けた取り組みを徹底して行い、高額・困難な滞納案件については、預貯金等の財産の調査、差し押えに加え、公売の執行などの滞納処分を迅速に執行し、滞納額を圧縮することにより、着実な収納率の向上を図る。





子どもたちの未来の為に
森本次郎議員

問 ふるさと納税は、昨年全国で3653億円、自治体あたり約2億円である。当市の実績は約600万円弱だが、全国平均を目指した取組みをすべきでは。

答 これまでも体験チケットや市内飲食店の食事券等のメニューを追加するなど、拡充に努めてまいりましたので、ふるさと寄附の趣旨を踏まえ、今まで以上に取り組んでまいります。

問 9月の補正予算で八木原小のプール壁を改修することだが、四和小のブロック塀改修も早期にできないか。

答 四和小学校のブロック塀等は、改善経費が高額になると見込まれることから、来年度以降となる予定である。

問 我が国の1人当たりGDPは25位まで後退し、米国への留学生も、1位の中国27万人に対して、ベトナムより少ない2万人弱で8位。この国の未来の為に、若い世代の留学を強力に推進して欲しいがどうか。

答 これからも英語教育を推進していく。

問 放置自転車、公益財団の支援措置を活用して、フィリピンなど発展途上国に供与できないか。

答 公益財団法人自転車駐車場整備センターの海外供与事業を確認し、本市の処分の参考にさせていただく。



教科書採択会議・審議会など
基本は「公開」で
阿部百合子議員

問 教科書採択の内容を少しでも早く公開できるよう印旛地区内で最後の町が終了した時点で公開していただきたいかがか。

答 教科用図書印旛採択地区協議会要項に基づき、公開できるものはすべて公開している。

問 教科書採択協議会参加の教員代表1人は、ほかの教員の意見をもって参加できる仕組みになっているか。

答 文部科学省及び県教育委員会の通知により、外部からのあらゆる働きかけに左右されることなく、静ひつな環境を確保することが求められていることから、8月31日までは印旛採択地区協議会委員を公開していない。

問 子どもの医療費の基準見直しで一部有料化を考えているという6月答弁だったが、子育て世帯にどんな方法でお知らせや聞き取りを実施するのか。

答 自己負担の見直しが正式に決定したら、市政だよりや市ホームページへの掲載のほか、市役所窓口や医療機関を通じたチラシ配布などにより周知を行う。

問 今議会に陳情として、「公民館有料化の説明会で、現在無料の千葉市のことがなぜ比較資料として出されなかったのか？」という内容で出されている。印旛郡市の多くが有料だと強調したいがために、千葉市の無料のこととは出さなかったのか伺う。

答 使用料を徴収する近隣市との比較として、佐倉市と印西市を掲載したもので、その2市との金額の差を表示したものである。



次期ごみ焼却施設建設の
様々な問題の解決を図れ
津島秀樹議員

問 次期ごみ焼却施設建設に向けて様々な問題が顕著化している。予定地の窪地解消工事が未完成、数年後に満杯になる最終処分場、検出された高濃度の有害物質フッ素対策等、問題が山積みだがどう解決するのか。

答 窪地解消工事については、工事施工者に対し早期完了を要請していく。今後の最終処分場の選定については長期的かつ安定継続できる候補地の情報収集に努めている。フッ素については、土壤汚染対策法に基づき土壌調査を行っている。

問 新庁舎建設費の見積もりが大幅に増額され、当初の38億円が48億円、今度は56億円だという。市民は納得できないと思う。災害時の非常用電源はどうなっているか。

答 非常用電源は72時間対応できる設計としている。

問 ハツ場ダムと霞ヶ浦導水事業の完成後、四街道自慢の「安全でおいしい水」が心配である。水道料金の値上げはあるのか。

答 受水費の増加が料金に与える影響度も踏まえて今後の施策の推進や給水サービスを維持する観点も含め、総合的に検証し、適切に対応する。

問 東海第二原発の再稼働に多くの市民は不安を感じている。市民の命と安全を守る立場の市長として再稼働をどう考えるか。

答 再稼働にあたっては、周辺自治体等と事業者が締結した協定に基づき、周辺自治体等の意向が最大限に尊重されるべきであり、今後の動向を注視していく。



中期的な財政見通しの確立を！
栗原直也議員

問 中期的な財政見通しとして、2025年における公債費と市債発行残高、さらには基金残高について伺う。

答 2025年の公債費は約31億円となり、市債残高は300億円程度となる見込みである。基金については、公債費が財政運営を圧迫しないよう、健全な財政運営を維持しつつ、残高を確保していきたい。

問 共生社会の実現に向け、LGBT市民への対応状況とガイドラインの有無について伺う。

答 現時点で、市民からの問い合わせ、相談等は受けていないことから、特段の対応等は行っていない。また、ガイドラインも作成していない状況である。

問 次期ごみ処理施設用地における土地交換契約に関して、工事完了前にもかかわらず土地分筆と所有権移転登記がなされた理由を伺う。

答 分筆及び所有権移転登記を先行することにより、事業が円滑に進み市にとって有利であり、それに対し隣接地権者が応じたため行った。

問 市庁舎整備事業における総事業費と交付税総額、さらには事業債の償還期間と毎年の償還額について伺う。

答 総事業費は56億円となる見通しであり、交付税措置額の総額は約8億8000万円となる。事業債の償還期間は20年間で、毎年の償還額は2億5000万円程度となる見通しである。



教育のICT環境整備
高橋絹子議員

2020年度から本格的に実施される学習指導要領においては、小学校のプログラミング教育が必修となり、ICTを活用した学習活動の充実が図られる。その前提として、ICT環境整備が必要だが以下伺う。

問 普通教室の無線LAN整備とインターネット接続環境はどのような状態になっているか。

答 普通教室の無線LANは整備しており、インターネット接続も可能である。

問 校務用支援システムについては完備しているといっているか。

答 校務支援システムについては、全小中学校に導入している。

問 教育用PCの整備が国の目標では一台当たりの生徒数が3・6人だが、本市は11人以上で県内下位から二番目である。今後の整備予定は。

答 教育委員会としては、来年度に向けて更新整備をしていくというのを計画しているが、市内小中学校のパソコン等、情報機器の整備を関係各課と連携して進めていく。

問 国の設置目標が100%である電子黒板を設置している学校は市内に何校あるか。

答 電子黒板のある学校は2校である。

問 ICT支援員の配置も必要と思うが、いかがか。

答 ICT支援員については、まだ市内では配置されていない。



四街道市の生産緑地について
西塚義尊議員

市内の生産緑地の直近の登録状況は。

問 生産緑地法の改正によって「特定生産緑地」として10年間の指定延長ができるようになったが、市内の生産緑地所有者の人数は。

答 生産緑地の所有者数については、平成4年の都市計画決定以降、相続された地区もあるため、平成32年度の意向調査に向け、正確な人数を把握すべく現在調査中である。

問 都市農地貸借法の成立に伴い、産業振興の観点からも広がりが見込めるが、市としての考えは。

答 優良な農地を保全することにより、新鮮で安全な農産物の供給のほか、市民の農作業体験の場としても期待できることから、所有者の意向を十分把握した上で、対応してまいりたい。

問 生産緑地の指定期間が終わる2022年以降に多くの生産緑地が宅地として活用された場合、固定資産税などの財政面での収益はどのようになるか。

答 土地の場所や利用状況が不明な段階では、市全体の固定資産税・都市計画税の試算は困難であるが、平成30年度評価額を基に算出すると、平均的な生産緑地で、千㎡あたり約千円だったものが、住宅用地で約10万円、非住宅用地で約37万円となる見込みである。



市内小中学校に設置されているエアコンについて
関根登志夫議員

問 四街道市では、全小中学校でエアコンが設置されているが、その効果について伺う。千葉県内54市町村の内、小中学校のエアコン設置率が90%以上なのは、17団体であり、しかもエアコン設置に関しては、施設の耐震化が優先であったが、四街道市では早くから耐震化も完了しており、エアコンの設置も先行して実施してきたことは、児童・生徒の安心安全が図れ、評価すべきことである。その事により、先行投資として財政が厳しくなっているが、国からの補助率が2分の1に引き上げられた場合には、特別教室にもエアコン設置をお願いしたいがいかがか。

答 今年の猛暑により空調設備設置に各市が動き出している中、当市においては平成28年6月に全ての普通教室及び特別支援教室に設置したこと、安全安心で快適な教育環境のもと、児童生徒の健康に大きな影響もなく、集中して学習に取り組んでいる。特別教室の空調設備については、児童生徒の教育環境の向上面から整備の必要性は認識しているが、校舎の大規模改修事業の実施にあわせて設置するなどにより、整備を進めたいと考えている。



子育て施策及び学校プール施設の今後のあり方
岡田哲明議員

問 1. 子育て支援の観点より以下伺う。
子どもルームの現状及び経験を積み子供たちからも信頼のある指導員に対する処遇について伺う。

答 子どもルームは全18ルーム718名が利用中。指導員は89名雇用しており、月給制の指導員については、2%前後のベースアップを継続実施している。

問 子どもに対する虐待について現状を伺う。

答 平成29年度の児童虐待受付件数は197件で、内訳は身体的虐待66件、心理的虐待85件、保護の怠慢・拒否であるネグレクトが46件でした。

問 障害のある子供たちに対する支援内容と進学や就職に対する支援について伺う。

答 在宅の重度障害児には、障害児福祉手当等があり、未就学児の早期療養・訓練には市児童デイサービス「くれよん」がある。進路や就労支援は、市や相談支援事業所において相談支援を行っている。

問 2. 教育関連問題から一点伺う。
経年劣化しているプール施設について、今後膨大な維持管理費を用意する必要があることから、民間屋内プール業者への児童・生徒の移動手段を含めた委託について、教育委員会の考えを伺う。

答 水道代や薬品代等の費用の削減が図られること、施設の維持管理を行う必要がなくなり、教職員の負担軽減につながることで、改修にかかる経費が不要となること等の効果が挙げられるので、検討していく。



豊かな心を育み学が喜びを
実感できるまち
清水清子議員

問 中学入学後に新しい環境での学習や生活に適応出来ず、不登校や問題行動が見られるという中1ギャップのサインを見逃さない取り組みについて伺う。

答 小中一貫の観点から、小中学校間の情報交換を行い、小中学校教職員で共通理解をもって指導・支援にあたるようにしている。

問 小中不登校児童・生徒については青少年育成センター、教育サポート室において277件が不登校の相談とある。対策について伺う。

答 教育サポート室と青少年育成センターが連携して、専門家や関係機関が関わりながら、悩みを抱える児童生徒とその保護者、学校を円滑に結びつけることで、児童生徒や保護者の心情に寄り添った支援につなげている。

問 生涯学習の取り組みのうち社会教育施設の充実として図書館の利用状況と課題について伺う。

答 図書館では貸出者数が増加している一方、貸出冊数に減少傾向がみられることから、市民要望に応えながら魅力ある蔵書収集により利用促進を図っていく。

問 小規模校（みそら、旭、山梨小学校）の統廃合の計画について児童の人数の推移とどのような視点で計画を立てていくのか伺う。

答 各小学校区に居住している0歳から5歳児までの数とその平均数を基に学年順に追って推計し、現在適正規模・適正配置の観点で調査・研究を進めている。



将来の安心に向けて

成田芳律議員

問 受益者負担と財政運営は別物という認識で問題ないか伺う。

答 受益者負担は、公平性の観点から、施設運営に掛かる経費等の一部をサービス利用者にご負担いただくものである。ご指摘のとおり、財政運営とは基本的には別と考えている。

問 行財政運営において、お金の使い方が当市の身の丈にあっているか伺う。

答 平成29年度決算では、実質単年度収支が2.5億円の赤字となり、2年連続の赤字となった。実質単年度収支は年度によって増減があるので、単年度赤字自体は必ずしも問題とはならないが、歳出の不足額を基金等で補っている現実を踏まえ、更なる経常収支の改善に努めていく。

問 ジャンボタニシの県内発生状況を伺う。

答 千葉県農業共済組合連合会の調査では、農家から病害虫により3割以上減収被害報告があった自治体は、茂原市、東金市、旭市など、主に県東部太平洋側の15の市町で、本市での発生及び被害の報告はない。

問 四街道健康ポイント「よつも」の状況を伺う。

答 8月末時点での応募状況は86名で、女性性が7割、60歳以上の応募が過半数を占めている。応募者の7割以上が、「よつも」が健康活動に取り組みきっかけとなったと回答しており一定の効果が得られている。

委員会研修・行政視察レポート

広報広聴特別委員会

1. 日程 平成30年7月18日～19日
2. 視察先 (1)沼田市 (2)桐生市
3. 視察内容
 - (1)群馬県沼田市

30年1月の編集会議でフルカラー化することが決定。



沼田市にて

・表紙は全面写真とし、シンプルなレイアウトにする。

・本文は12pt、14文字、30行。ユニバーサルデザイン丸ゴシック体フォント。

・文末の文体をなるべく統一する。
・ページ数が多くならないよう、討論や報告などについて趣旨のみの掲載とする。

【所感】委員全員が、積極的に議会だよりのリニューアルを成し遂げるとの思いを強く感じた。

特に、編集委員長の広報に関するスキルの高さが影響していることも実感した。

当市議会においても、委員全員が研究・研鑽に力を入れていくことを確認しあった。

(2)群馬県桐生市

議会報告会について

(議会報告会)

・地域包括支援センター8圏域で報告会を行っている。

・若年層の呼び込みに力を入れており近隣大中学生の参加も見られる。

・参加者にアンケートをしており、回答は市議会ホームページに掲載、各公民館でも紙ベースでファイルしてあり、希望者は閲覧できるとしている。

・開催の告知は、SNSの活用、区長連絡協議会での告知や各団体での会議にチラシを配布してもらったりしている。

(まちづくり討論会)

・各種団体との意見交換を「まちづくり討論会」として開催している。

(議会モニター)

・PTAなど6つの団体に推薦依頼をして高

- 1. 日程 8月2日
- 2. 場所 保健センター会議室
- 3. 概要 当市の危機管理監、澤島博氏を

四街道市議会勉強会



桐生市にて

校生から70歳代までの男性2人、女性8人でスタートした。
【所感】各種団体とのまちづくり討論会は、ターゲットを絞り込んだ意見交換が可能で、四街道市でも議長主催の意見交換会は既に取組みを行ってきている。今後も拡充を図っていきたいと考える。

(成田 芳律記)

講師として招き、氏が当時、浦安市危機管理監として対応された東日本大震災での経験や、課題等についての講話を行った。

(1) 危機管理における課題

災害は忘れられるという点がある。約3カ月もすると、人々の生活から忘れられ、30年すると記憶が途切れる。また60年すると地域が忘れ、300年経過すると社会から消えるという話があった。また、正常性バイアスという、自身にとって都合の悪い情報は無視する傾向がある事の指摘がなされた。

(2) 震災への備え

現在は、千年周期巨大地震と百年周期大地震の重複時期にあたるという指摘がなされた。863年の越中・越後地震が中越地震と対応し、869年の肥後地震が熊本地震に対応する等の指摘があった。

また、講師が東日本大震災時に、浦安市危機管理監として対応した経験の講話がなされた。下水道対策をはじめ、実際に復旧復興への取組みの際、特にいつまでに何ができるかという目標を設定することが、住民の理解や協力を得るために大変重要なことであるという指摘がなされた。

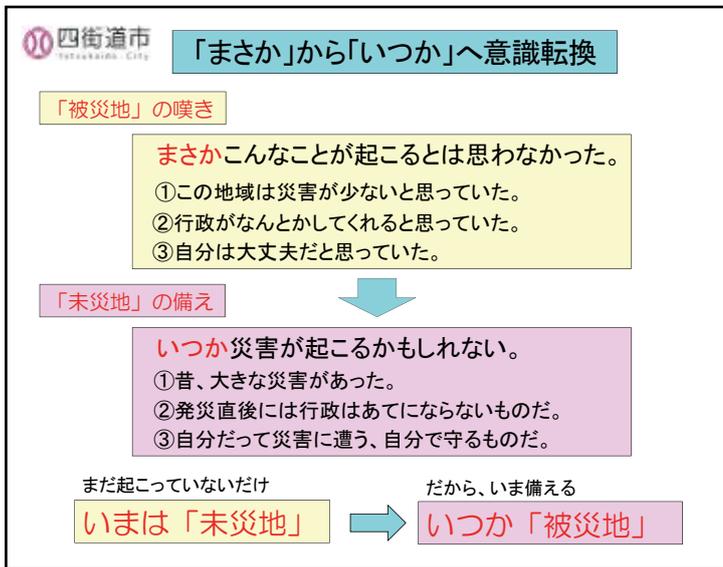
また、熊本地震の教訓として、災害対策本部が機能しない時間が生じる可能性についての言及もなされた。自助・共助・公助のうち、災害発生直後から一定程度の時間は、自助・共助が何よりであり、公助については限界がある点の指摘がなされた。

(3) 風水害への備え

当市でも集中豪雨は発生しており、平均気温が1℃上昇すると、風水害の発生率が約30%上昇すると言われている点の指摘がなされた。その点を踏まえ、当市の第1号から第4号まである配備指令及び体制についての説明がなされた。

(4) 全体を通じて
 議会として、災害発生から復旧復興までの関わりについて、今後全議員の議論の必要性があると感じた。「まさか」から「いつか」への意識転換、つまり、「いまは未災地だがいつか被災地になる」という備えの重要性を感じた。

(成田 芳律記)



私がからす四街道・みんなで話そう！

第9回 議会報告会

日時

平成31年2月2日（土）午後2時～4時

場所

文化センター 201・202・203・206号室

<全体会>

議会報告及び平成29年度決算審査の内容をご報告いたします

<グループ会>

市民の皆さまからのご意見をお聞きいたします



「多くの皆様のご参加をお待ちしております」

『財政調整基金』
 議会だよりの3ページのグラフに記載されている財政調整基金とは、年度間の財源の変動に備えるための基金です。自治体が、財源に余裕のある年度に積み立て、財源不足が生じた年度に取り崩すことで財源を調整し、健全で計画的な財政運営を行うためのいわば「市の貯金」と言えます。

行政用語まめ知識

前号から一般質問に顔写真を入れました。どうでしょうか。この議会だより担当の委員で7月、群馬県の沼田市・桐生市を視察し、その熱意に感服。少しでも良いところは取り入れていこうと話合っています。9月議会では、庁舎整備関連の補正予算が総務常任委員会で否決。最終日の本会議に「動議」という修正提案が出され、やっと可決。市役所の市政だよりと違うのは、結果が出る途中経過のやり取りが議会だよりです。皆様が議会に関心をもって頂けるよう、担当委員として力を尽くします。
 (阿部 百合子記)

編集後記

12月定例会 会期日程案のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26 本会議 開会	27	28	29 本会議 議案審議 (質疑) (委員会付託)	30 都市環境 常任委員会	12/1
2	3 教育民生 常任委員会	4 総務 常任委員会	5 本会議 一般質問	6 本会議 一般質問	7 本会議	8
9	10 本会議 一般質問	11 本会議	12 本会議	13 本会議	14	15
16	17	18 本会議 閉会	19	20	21	22

本会議の開会は午後1時(予定)です。

※会期日程等は変更になる場合がありますので、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。 TEL 043-421-6152(直)